

週間感染症情報

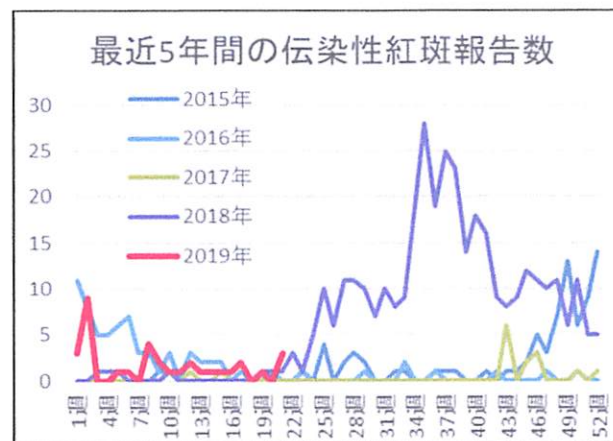
2019年21週 2019年5月20日より2019年5月26日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	1
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	8
手足口病	7
ヘルパンギーナ	1
伝染性紅斑	3
感染性胃腸炎	34
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	1
突発性発疹	2
伝染性膿痂疹(とびひ)	3
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	
RSウイルス感染症	1
マイコプラズマ感染症	
ヒトメタニューモウイルス	1
インフルエンザ(臨床診断含む)	10
インフルエンザA	4
インフルエンザB	6

感染症は少なかったです。病児保育利用者も少なかったです。

インフルエンザの報告が増えました。A型は清音小6年生で小流行がありましたが、拡大することなく終息しました。、B型は市内小学校で単発例の報告がありましたが、家族内感染ですみました。真備地区では小流行があり、学級閉鎖も出ています。熱帯ではインフルエンザは通年性にみられます。検査キットで手軽に診断がつくようになった事と、温暖化の影響があるのかもしれませんが。

手足口病とヘルパンギーナなど、夏のエンテロウイルス感染症が増えてきました。今シーズンの手足口病は、高熱の症例が多いようです。原因のウイルスは数種類ありますので、複数回かかる例もあります。また、症状がなくなっても、便にはウイルスが数週間排泄されますので、感染予防は困難です。「みんながかかって終わり。」ということになります。伝染性紅斑は、総社市内保育園1例、岡山市内保育園1例、成人例でした。伝染性紅斑は、全国的に流行しています。総社市では下のグラフのように、2018年の春から秋にかけて357人の報告があり、大きな流行を経験しました。今年も報告は続いているようですが、大きな流行にはならないと思います。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)